

○「都市計画公園のあり方」検討の必要性

社会情勢の急激な変化に伴い多様化する、都市・まちづくりの課題を改善するために、「公園」をどのように積極活用できるかという視点で、「都市計画公園」の核となる府営公園を中心に検討。

○府営公園の位置付け 高次都市機能ネットワーク型の都市構造を形成するための高次都市機能、みどりの風を感じるネットワークの拠点

「大阪府における都市計画のあり方（答申）」（H28年2月）

【都市づくりの基本目標】

- ・国際競争に打ち勝つ強い大阪の形成
- ・安全・安心で生き生きと暮らせる大阪の実現
- ・多様な魅力と風格のある大阪の創造



「みどりの大阪推進計画」（H21年12月）

【基本戦略】

- ・みどり豊かな自然環境の保全・再生
- ・みどりの風を感じるネットワークの形成
- ・街の中に多様なみどりを創出
- ・みどりの行動の促進



○基本理念

- ・都市の風格を高めるみどりのネットワークの拠点
- ・安全・安心で快適な暮らしを支える重要な都市基盤
- ・多様な個性で都市の活力と魅力を高める府民共有の資産

○目標像

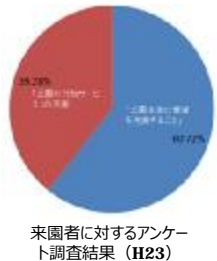
- 《都市魅力》 大阪の活力と魅力を高める公園
- 《府民生活》 府民の豊かな生活を育む公園
- 《安全安心》 府民の安全・安心を支える公園
- 《都市環境》 都市の自然環境を次世代に継承する公園

○府営公園の意義 各時代の様々な社会要請を先導的に受け入れ、都市・まちづくりを牽引すること。

上位計画の実現に寄与

○府営公園の現状

- ・公園に対する関心の高まり
- ・府民ニーズの多様化
- ・多様な主体が公園づくりに参画
- ・防災公園の整備推進
- ・施設や樹木の着実な維持・更新
- ・多様な生物の生息・生育空間



○府営公園の課題

- ・地域社会への貢献
- ・適切な維持管理の推進
- ・民間事業者の参画促進
- ・既存ストックの活用
- ・公園整備の重点化
- ・多様な主体が参画できる仕組みづくり



○府営公園を取り巻く環境の変化

- ・人口減少・少子高齢化の進行
- ・ライフスタイルの多様化
- ・自然災害の発生リスクの高まりと甚大化
- ・都市環境の悪化
- ・みどりに対する府民意識の高まり
- ・グローバル化の進展
- ・予算・人材の減少
- ・環境の変化を受けた最近の国の動向

都道府県	令和30年度以内の発生確率
山口県	3~4%
徳島県	3~4%
香川県	3~4%
愛媛県	3~4%
高知県	3~4%
福岡県	3~4%
佐賀県	3~4%
熊本県	3~4%
鹿児島県	3~4%
沖縄県	3~4%

自然災害発生リスク

○基本方針と具体的な取組方策

①公園毎の特色を活かし育み、“都市の顔”となる公園づくりを推進

- ・質の高いみどり空間の創出・保全・活用
- ・各公園の特色を活かしたマネジメントプランの策定

②民間活力を積極的に導入し、都市の活力を生み出す公園づくりを推進

- ・民間の資金やノウハウの活用
- ・民活導入による還元の仕組みづくり
- ・民間事業者が参入しやすい環境整備

③公園を柔軟に使いこなし、地域社会に貢献する公園づくりを推進

- ・地域の課題に応じた施設の導入・イベントの実施
- ・ニーズの変化に対応できる制度の導入
- ・多様な主体が公園に関わる仕組みづくり

公園の魅力向上 ↔ 相乗効果 ↔ 地域への波及効果、収益の還元

④誰もが安全・安心・快適に利用できる公園づくりを推進

- ・公園管理の充実
- ・積極的な管理による、みどりの質の向上
- ・ユニバーサルデザインの推進
- ・情報発信の強化

⑤府民の命を守る公園づくりを推進

- ・防災公園の整備
- ・地域の防災力を高める取組みの推進

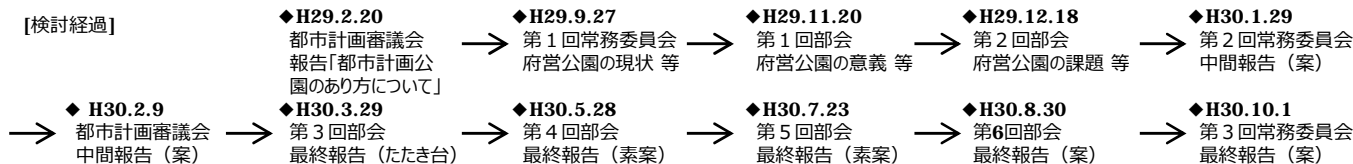
⑥多様な自然とふれあい、都市の環境を保全する公園づくりを推進

- ・自然の重要性の発信
- ・公園の自然を積極的に守る
- ・自然とふれあう機会の創出
- ・省エネルギー型・資源循環型の公園づくり

⑦都市・まちづくりを先導し続ける戦略的な整備・管理・運営の仕組みづくり

- 公園整備・管理・運営のポリシーを担保する仕組みづくり
- 多様な主体による自立した公園づくり
- 組織・財源の確保
- ・第三者機関による確認・評価
- ・協働を支える仕組みづくり
- ・公園ごとの指標や評価手法の確立
- ・公園の管理運営に携わる多様な人材と組織体制の確保
- ・公園の管理運営に係る財源の確保

【検討経過】



- 【大阪府都市計画審議会常務委員会】 敬称略
- 委員長 塚口 博司（立命館大学特任教授）
  - （部会長）加我 宏之（大阪府立大学教授）
  - 嘉名 光市（大阪市立大学教授）
  - 滋野 由紀子（大阪府立大学教授）
  - （部会員）赤澤 宏樹（兵庫県立大学教授）
  - （部会員）井原 緑（奈良県立大学准教授）